

# 宮城県東松島市で 炊き出し支援活動に奮闘！

## <活動概要>

- 期 間 8月22日(月)～8月25日(木)
- 内 容 炊き出し支援活動(昼食および夕食の調理・配布)
- 参 加 者 新富町若者連絡協議会  
(商工会青年部8人、農協青年部2人、青年団2人、  
農業青年団2人)、町職員4人 計18人
- 活動場所 宮城県東松島市  
仮設住宅6カ所、市民センター1カ所、  
学習等供用施設1カ所
- 配 布 数 おにぎり 700パック  
牛丼・カレー 各200食  
焼肉 400食  
たまご 1,000パック  
新米(5kg) 100袋



①



②



④



③

- 写真：①阿部 東松島市長へ  
新米を贈呈  
②新米配布の様子  
③新米を使った昼食お  
にぎりの配布  
④卵と夕食の宮崎チキ  
ンカレーの配布

## 支援隊メンバーインタビュー ～感じたこと、伝えたいこと～

### 「この経験を伝えていきたい」

初めて実際に目にする被災地は、津波の凄まじさと恐ろしさを身をもって感じさせてくれました。支援隊のメンバーも、想像以上の現地の姿に、大きなショックを受けたようでした。今回の活動は、支援の少ない場所を重点的に回り、被災者の方々にも大変喜んでいただきました。また、自分たちの意識の面においても貴重な経験を与えてくれました。いざというときに、自分の身を自分でどう守るかの危機管理について考えさせられましたし、何より平和な日常が続くことへの大切さやありがたさを噛みしめさせてくれました。



若者連絡協議会会長  
川上喜義さん

### 「私たちも負けてはいられない」

テレビ等では分かりにくかった被災地の状況。それらが現地では、生々しい情報として直に伝わってきました。被災者の方から、まるで「立ち上がってきたかのような」津波の様子や、家族が数日間ばらばらで連絡がとれなかったり、救助が来るまで暗闇の中1人で過ごすしかなかったといった、震災当時の悲惨な状況などを聞いて、胸が締め付けられるような思いがしました。今回お届けした新米などの新鮮な食材は、大変喜んでいただきました。「復興」という共通の目標を持つ者として、被災者の方々の気丈な姿に、気持ちが新たになったように思います。



支援隊の物資輸送を担当  
したドリームロード代表  
森 進次さん

### ◆協賛会社・提供食材など◆

活動への賛同および食材のご提供をいただき、誠にありがとうございました。

- |                   |      |               |          |
|-------------------|------|---------------|----------|
| ○宮城県乳用牛肥育事業農業協同組合 | ハーブ牛 | ○宮崎サンフーズ株式会社  | 鶏肉       |
| ○児湯養鶏農業協同組合       | 卵    | ○キムラ漬物        | 漬物       |
| ○山西水産             | ちりめん | ○徳山醤油         | しょうゆ・みりん |
| ○黒木農産             | 水だし茶 | ○新富町民の方々(53人) | 新米       |
| ○新富衛生社            | 豚肉   | ○児湯農業協同組合     | 金一封      |